

夢二が好んだ "芝居ごと"

第25回国民文化祭・
おかやま2010協賛事業

平成22年 7月27日(火)―10月17日(日)

開館時間 ■ 9:00~17:00

(入館受付は16:30まで)

休館日 ■ 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)

入館料 ■ 一般700円・中高大学生400円・小学生300円

※20名以上の団体は2割引

夢二郷土美術館
Yumeji Art Museum



夢二の生まれ故郷である岡山県邑久郡(現在の岡山県瀬戸内市)本庄村は、近くに朝鮮通信使航行の要港であった牛窓の港があり、かつてはそこから、旅人や富山の菓売り、阿波の人形芝居や伊勢神楽などが頻繁に往来していた地域でした。村の顔役であった祖父、父はまく旅芸人たちの世話をし、また、ときには村芝居の勧進元を務めるほどの芝居好きでもありました。この地方の村では芸能を楽しむことは日常であり、幼い夢二が姉・松香の小袖をかついで芝居の真似ごとをして遊んでいた様子も『櫻くさ嶋 春のかはたれ』(明治45年)などの自著にみられます。

このような環境で芝居に親しんで育った夢二は、芸能に対する造詣が深く、歌舞伎や浄瑠璃に材をとった作品を多く遺しました。独自の感性でとらえた表現、単なる一場面にとどまらない深い情感をたたえた画面からは、特別な思いを持って取り組んだ題材であったことがうかがえます。義理と人情のしがらみや、男女の極限の愛などをテーマとした上方の和事を特に好んだ夢二。さまざまに揺れ動く人々の心を見事に集約した、夢二ならではの芝居絵の世界をご紹介します。

会期中に2回、ギャラリートークをおこないます。芝居の内容に触れながら、見どころを分かりやすくご案内します。ぜひお越しください。

芝居ごと

雪の降る夜のかなしさに
袖の小袖をそと被つぎ

「……でんちうじや、はりひぢじや
島さん、紺さん、なかのりさん……」

踊りくたびれ「袖袂」の
胸に小袖をうちかけて
寝ながらの 芝居事

「寒かろうとして着せまする」

このまゝつとも寝わいの。

『夢二の自著』(1914年)



三島綱子(大正2年頃)



みづゆき(大正11年頃)



冠橋の浮世(大正13年頃)



柳川忠貞(みづゆき) (大正13年頃)

イベントのおしらせ

夢二の詩~ハーブの夕べ(仮題)

ハーブ奏者・小倉知香子さんをお迎えして、
夢二作品とともに美しい音色をお楽しみいただけます。

開催日時■平成22年9月16日(木)
18:00開演(17:30開場)~19:30

会場■夢二郷土美術館 本館
入場料■1,700円(美術館入館料含)
定員■50名(申込先着順)
お申込・お問合せ先■夢二郷土美術館本館 TEL086-271-1000
またはyumeji@gaen.ocn.ne.jp

ギャラリートークのご案内

開催日■8月7日(土)
9月4日(土)
時間■いずれも14:00~

会場■夢二郷土美術館本館
※お申込不要・
参加無料(要入館料)

第25回国民文化祭・おかやま2010協賛事業

「松田基コレクション~岡山ゆかりの画家たち」平成22年10月19日(火)~12月26日(日)

夢二郷土美術館の創設者である松田基初代館長のコレクションの中から、岡山にゆかりの画家たちの作品をご紹介します。

第26回文化講座

岡山ゆかりの画家たちについて、守安取氏(岡山県立美術館 副館長)にお話いただけます。

開催日時■平成22年10月23日(土)14:00(開場13:30)~
会場■夢二郷土美術館 本館
入場料■美術館入館料 ※事前予約の方は2割引、ゆめびい会員は無料です。

池田嘉経<チャップリン鶴岡踊り見物>



次の企画展

夢二郷土美術館 Yumeji Art Museum

〒703-8256岡山市中区浜2-1-32 TEL086-271-1000 FAX086-271-1730
E-mail:info@yumeji-art-museum.com http://www.yumeji-art-museum.com/

交通のご案内



路面電車■JR岡山駅より東山行「城下」下車、
徒歩15分
バス■JR岡山駅より後楽園方面行
「蓬萊橋・夢二郷土美術館前」下車すぐ
タクシー■JR岡山駅より10分
車■山陽自動車道岡山ICより約20分

入館割引券

2名様まで2割引で
ご購入いただけます。
※本券は会期中のみ有効です。

